

2018

月刊「ニューメディア」

NEW MEDIA

<http://www.newww-media.co.jp>

1983~2018

35周年

メディアのビッグバンを伝えて35年
それは新技術・新サービスの軌跡

株式会社 ニューメディア

NEW MEDIA

2017年の月刊「ニューメディア」



1月号

**NHKがルーブル美術館と国際共同制作
8K/HDR 作品「ルーブル 永遠の美」視聴レポート**

4K olympAc 第6回「進み始めるHDR対応」レポート

Inter BEE 2016「出展各社の4K・8K番組制作システム」

トランプ対クリントン「ソーシャルメディアの闘い」

「AT&Tのタイムワナー買収」動静と影響



2月号

特集 Inter BEE 2016

大好評! 別冊 最高の執筆陣たちが大いに語る
動き出す8Kメディア

防災をテーマに高知黒潮町で高校生サミット開催



3月号

「特集」高度BS「4K難民」一千万世帯大発生!
—「難民救済」はケーブルテレビ絶好の商機—

CES2017 レポート
—3大トレンド「AI」「HDR」「コネクテッド・カー」—

隈研吾氏インタビュー
「新国立競技場とスマートスタジアムの未来」



4月号

**A-PAB 開催「4K制作ワークショップ」に
500人が参加**

スポーツ動画配信サービスの未来の方向性

日本ケーブルラボと主要ベンダー 8社
「新年度のケーブルテレビ技術・事業戦略」



5月号

**匿名座談会
「DAZN 配信トラブルの技術問題」**

「5G時代到来の確信」/バルセロナ開催 MWC 2017

東日本大震災6年「メディアが取り組む防災新提案」



6月号

特集 放送ネット同時配信を考える論点
ローカル局の展望を描くために

国宝検査撮影、内視鏡手術など広がる8K活用事例

時事問題特集 トランプ政権で変わる「東アジアの地政学」



7月号

電通総研・奥氏 提唱
「一周まわってテレビ」論と
“これからのテレビ”

NAB 2017で見た「IP化するテレビ放送」

「Interop/CMT」開催直前 特集
—放送とネット・モバイル・IoT・VR連携最前線—

報告 先駆的8Kコンテンツ制作
—地上波ローカル局とボスプロの経験—



8月号

「一周まわってテレビ論」対談シリーズ①
提唱者 電通総研・奥氏 × メディアコンサルタント 境氏
テレビ視聴の「積分」論

「ケーブル技術ショー 2017」直前大特集
—「展示の見どころ」と「大型商機」高度BS—

NHK 技研公開 2017が見せた “NEXT”

字幕付きCMと動画広告ビジネスの対応

山口真吾「ideathon AI next」連載開始!



9月号

**2025年15兆円へスマート化する
スポーツ産業**

「ローカル局の今後」を考える「場づくり」の第一歩
—本誌+マル研+OAB開催「宿泊研究会」レポート—

順天堂大「8Kで医療を変える」先端セミナー報告

4K olympAc 7th「ホームシアター・プロジェクター」報告

Interop Tokyo 2017 報告特集
—注目の放送局・ケーブルテレビ向け技術・製品—



10月号

**Jリーグ 試合ライブ動画を
10 配信メディアで一斉展開**

「ブロードバンド活用×放送サービス」
13コンソーシアムの計画全容

「九州北部豪雨」現地民放局の奮闘

小寺信良氏・西田家千佳氏
鋭鋭 IT ジャーナリストが新連載開始!



11月号

**特集 テレビとネットの
広告効果の指標を考える**

～広告主組織 JAA、広告会社組織 JAAA、視聴率測定会社 VRに聞く～

米国次期地上放送「ATSC 3.0」は何を目指すのか (前編)

特集 FTTH「10G時代」到来! ～最新製品と導入事例～



12月号

野田聖子 総務大臣 × 竹中ナミ フロップ・ステーション 理事長
「障害児の母としての子育てからNHK同時配信まで」を語る

児野昭彦 NHK 専任理事・技師長
次世代放送技術・サービスの展望

藤田 晋 サイバーエージェント社長 × 奥 律哉 電通メディアノベーション部長兼責任者
AbemaTVの成功がもたらす通信型動画サービスの未来

塚本幹夫 氏 音 好宏 取締役
特集 NHK “常時同時配信”の本質はここだ!

民放キー5局
最新の動画配信戦略を語る

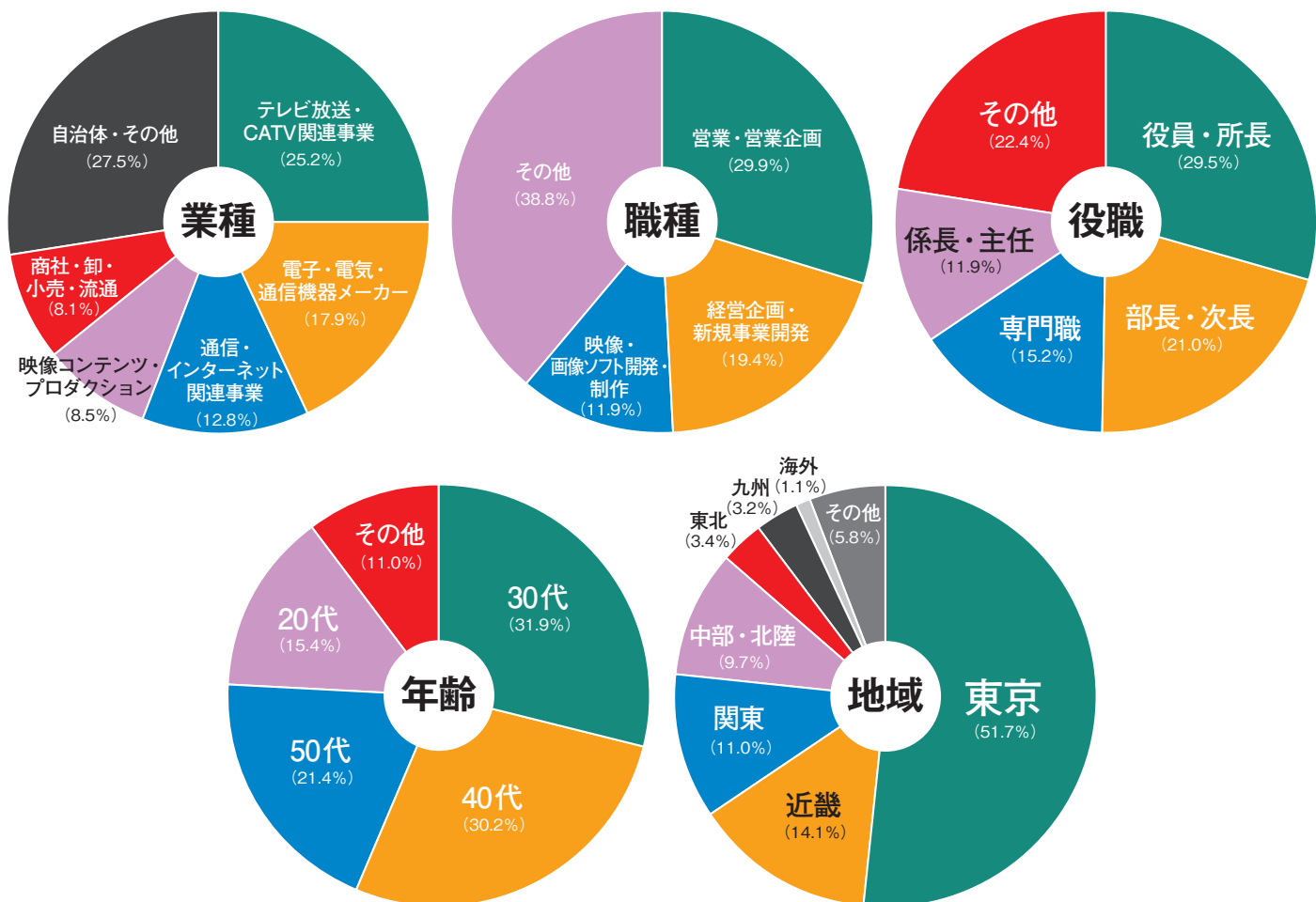
NEW MEDIA

■ 月刊「ニューメディア」発行概要

発行日	月刊発行（毎月1日発売）
創刊	1983年
発行部数	55,000部（定期購読者を中心に大手主要書店、Amazonなどネット書店にて販売）
体裁	A4判変型
価格	1,150円（税込） 年間12冊定期購読料：13,800円（税込）
編集長	渡辺 元
取次	トーハン、日本出版販売、大阪屋栗田、三和図書

■ 読者基礎データ

情報感度の鋭い読者の多くは攻めの部署に在籍しています。
つまり、弊誌は時代を牽引するキーパーソンのアイデア・ソースになっているのです。



NEW MEDIA

■ 会社案内

会社名 株式会社ニューメディア
所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-5 銀座NFビル TEL:03-3542-5231 FAX:03-3545-5843
創 立 1985年7月
資本金 2,000万円
代表発行人 天野 昭

事業内容 ① 新技術、新事業の専門ビジネス誌として、他メディアと一線を画す徹底した調査、取材を行い、
オピニオン形成と市場の発掘・発展促進を目指すメディア情報誌の発行
② 専門書含む単行本の発行
③ メディア業界の最先端テーマによる企画セミナーの開催
および視察ツアーの実施

Web サイト <http://www.newwww-media.co.jp>

主要刊行物 月刊「ニューメディア」①
NM新書 創業記シリーズ ②
NM BOOKS ③
『The FileBase Book』『The FileBase Book2』④
『われら知財派』⑤
『NHK会長 海老沢勝二が語る デジタル公共放送論』⑥ ほか

取 次 トーハン、日本出版販売、大阪屋栗田、太洋社



■ 主な広告クライアント (順不同)

パナソニック／華為技術日本／日本電気／イスラエル大使館／花王／日清製粉／西華産業／ミハル通信／ビデオ・テック／
グラスバレー／ NECビューテクノロジー／ NECソフトウェア／ NECインターチャネル／日本マクドナルド／IMAGICA／
キヤノン／アスク／メディアグローバルリンクス／ヤマトシステム開発／さくら映機／ジャパン ケーブルキャスト／シンクレイヤ／
ディズニー・チャンネル／ジェイスports／アストロデザイン／松浦機械製作所／日本ヒューレット・パカード／アサカ／
中日電子／アニマックスブロードキャスト・ジャパン／日本通信機／ヒロテック／ヨーズマー／NHKアイテック／マスプロ電工／
スター・チャンネル／FOX インターナショナル・チャンネルズ／日本BS放送／ワールド・ハイビジョン・チャンネル／DX アンテナ／
ケーブル・ジョイ／伊藤忠ケーブルシステム／朋栄／サーティファイ／キッズステーション／釣りビジョン／メディアキャスト／
エル・エス・アイ ジャパン／日本CATV技術協会／ジャパン・エンターテイメント・ネットワーク／イトーキ／報映産業／
アビッド テクノロジー／アリス・グループ・ジャパン／デジタルプラネット衛星放送／日本ケーブルテレビジョン／マイクロソフト／
電子情報技術産業協会／スカイビジョン／囲碁将棋チャンネル／日本ケーブルテレビ連盟／関電工／ブロードネットマックス／
古河電気工業／富士通ネットワークソリューションズ／放送大学学園／メディアネットワークソリューションズ／ファミリー劇場／
ジャパンイメージコミュニケーションズ／富士通／日活／NTT／NTTコムウェア／NTTソフトウェア／NTTドコモ／電通／
NTT-ME／NTTファシリティーズ／東芝／ソニー／日立製作所／日立エンジニアリング／日立国際電気／三菱電機／
クアルコム／フジクラ／日本アイ・ビー・エム／NHKメディアテクノロジー／日本アルカテル・ルーセント／インターテック／
データブロード／ナノオプト・メディア／KDDI／アルフレッドコア／加賀電子／ARA Networks／ラムダシステムズ 他

NEXT30

今後の日本社会を展望する、月刊「ニューメディア」独自の研究活動



今、日本社会が抱える課題をメディア産業からフォーカス。テーマに即した外部のオピニオンリーダーを講師に、オープンな場として研究セミナーを開催。NEXT30はアドバイザー、スポンサーメンバーの参画によって活動しています。

※活動は2016年で終了しました。

「これまでの研究セミナー」

(2015年4月現在)
*役職等は講演当時のものです。

NEXT30アドバイザー



増田寛也氏

野村総合研究所顧問
日本創成会議座長



廣瀬通孝氏

東京大学大学院教授



杉本誠司氏

ニワンゴ代表取締役社長

スポンサーメンバーのメリット

- 業種を超えたキーパーソンとの縁づくり
- 提言、宣言への立案参画とアピール
- Boardメンバー会議へ参加
- 研究テーマへの意見、要望の反映
- 研究活動の記録をほぼリアルタイムで入手可能

スポンサーメンバーには、(株)NHKエンタープライズ、(株)NHKメディアテクノロジー、NTTぷらら、(株)アイセック・ジャパン、ジャパンケーブルキャスト(株)、(株)電通 電通総研、(株)ビデオ・テック、(株)丸八ホールディングス、(株)オクトシステムサービスらが参画 (2015年4月現在)。

第1回「TPPにおける知財戦略と日本のメディア産業力強化」

講師：甘利 明氏 経済財政担当大臣
角川歴彦氏 (株)KADOKAWA 取締役会長

第2回「次世代携帯電話の情報革命技術とサービス」

講師：松本徹三氏 ソフトバンクモバイル(株) 特別顧問
渡辺文夫氏 (株)KDDI研究所 代表取締役会長／工学博士
吉崎正弘氏 前総務省総務審議官

第3回「人口減少・極点社会が激変させるメディア市場と対応戦略を考える」

講師：増田寛也氏 野村総合研究所顧問、日本創成会議座長、元総務大臣・岩手県知事
廣瀬通孝氏 東京大学大学院教授

第4回「福島第一原発の廃炉への道程とロボット技術について」

講師：及川清志氏 技術研究組合・国際廃炉研究開発機構理事

第5回「ネットワーク空間の社会と今後の展望」

講師：杉本誠司氏 (株)ニワンゴ代表取締役社長
原 丈二氏 アライアンス・フォーラム財団会長

第6回「消費税軽減税率の適用範囲」

講師：西田実仁氏 公明党参議院幹事長・公明党税制調査会事務局長
金 時文氏 「東洋経済日報」編集局長

第7回「条件不利地域への放送・通信インフラ整備」

講師：今川拓郎氏 総務省地域通信振興課長
鈴木信也氏 総務省衛星・地域放送課長
中原 淳氏 国土交通省参事官

第8回「QVCスクエア視察と佐々木迅QVCジャパン社長のプレゼン」

講師：佐々木迅氏 (株)QVCジャパン代表取締役社長

第9回「仕事がない過疎地だから、仕事を持つ人を呼ぼう」

講師：大南信也氏 NPO法人グリーンバレー 理事長
角川素久氏 Sansan(株) CWO
隅田 徹氏 (株)えんがわ 代表取締役社長

第10回「確固たる『ジャパン・ブランド』を打ち立てる国際戦略づくり」

講師：森 清氏 総務省 情報通信国際戦略局局長
高橋一之氏 北海道テレビ放送 営業局国際メディア事業部長

第11回「災害大国日本における国土経営の再考」

講師：大石久和氏 元国土交通省 技監、一般財団法人国土技術研究センター 国土政策研究所所長
田村秀夫氏 国土交通省 大臣官房審議官
池田豊人氏 国土交通省 大臣官房技術審議官

第12回「成熟社会の『少子高齢』の宿命に立ち向かう」

講師：井上秀雄氏 トヨタ自動車(株) 先進自動車研究プロジェクトリーダー
増田寛也氏 野村総合研究所 顧問、日本創成会議 座長、元総務大臣・岩手県知事

第13回「広告表現の未来 ～メディア急進化時代の広告表現～」

講師：福田敏也氏 トリプルセブン・インタラクティブ 代表取締役
中島信也氏 (株)東北新社 取締役

第14回「世界最大の気象情報会社ウェザーニューズの心臓部を見学する」

講師：森田清輝氏 (株)ウェザーニューズ 執行役員
石橋知博氏 (株)ウェザーニューズ 執行役員

第15回「日本発『8K医療応用』をリードする技術開発の課題」

講師：千葉敏雄氏 日本大学総合科学研究所・教授
小池康博氏 慶応義塾大学・教授
谷岡健吉氏 メディカル・イメージング・コンソーシアム副理事長
黒木義彦氏 (株)コンフォートビジョン研究所 代表取締役社長

Xデー勉強会の開催

●専門誌編集部らしい厳選テーマで“勉強”

編集部が取材した「勉強したい」テーマで独自企画

●新技術、新製品、新動向などを共同で企画する“勉強”

企業各社と連携した企画セミナーも立案。もちろん本誌編集部らしい「参加者募集」をサポート



“柿落し” Xデー勉強会で記念の一言。前に並ぶのは講師の電通総研の方々



ニコニコ動画の杉本氏とじっくり考えた「動画共有のコミュニケーション力」とは（3回の開催）



Twitterカンパニー（デジタルガレージ社）の佐々木EVPを講師に、ネット接続でTwitterの最新を勉強（2回の開催）



USTREAM Asiaの中川氏のプレゼン聞き、ライブ配信プラットフォームの生かし方を意見交換



NHKエンタープライズの今和泉氏がIFAとIBCのビジネスコンベンションから「欧州のIPTV/OTTおよびSmartTV関連の最新動向」を報告



ISSP代表理事の会津氏に聞く「東日本大震災 情報行動調査」の分析



本誌連載でおなじみの電通総研チーフ・メディア・リサーチ長野氏が読む「スマートデバイスによる新たなコミュニケーションの兆し」



好評連載の在米ITアナリストのテッド・若山氏が提起する「アメリカのコードカッティングは対岸の火事か」



GEATEC2011講演で話題となったデジタルAV評論家の麻倉博士氏の「スマート“な”テレビ」提案を聞く



4月1日開局NOTTVの上瀬顧問（技術担当）が解説したVHF-High帯のモバイル放送の技術特徴



USTREAM Asiaの2回目（再試合）は山本氏の最新動向とビジネスモデルの提案を“夜学”



激烈連載「社会課題とビッグデータ」筆者の野村総合研究所・鈴木氏が「放送におけるビッグデータの活用」提案



「インターネット上のスポーツ映像ビジネス〜世界1,000万を突破したradiko、IPベースの配信システムをメディアプラットフォームの香取氏に聞く」



月のユニークユーザー1,000万を突破したradiko、IPベースの配信システムをメディアプラットフォームの香取氏に聞く



テレビの次はどうなる——スマートTVと動画ビジネスの将来展望をITコンサルタントの高木氏が報告



元読売新聞東京本社編集委員の鈴木氏が放送分野の記者27年の経験から直言「テレビは進化しているか？」



テレビの画質から見える日本メーカーの実力と今後について、オーディオ・ビジュアル評論家の藤原氏と考える



NHKエンタープライズの今和泉氏がIFA/IBC等の取材映像を交え「欧州コネクテッドTVとマルチスクリーン対応の最新事例」報告



ポスト地デジ時代と視聴率についてビデオ・オリサーチ・尾関氏が提案



テレビ60年の歴史をNHK放送博物館で高尾氏の解説で勉強



視聴率とツイッター指標づくりに関するビデオ・オリサーチ・長島氏に可能性と課題を聞く



電通総研の奥氏と庄野氏による「スマホ時代のインパクトを広告メディアの視点から整理する」（2回開催）



LINEを活用した新たなマーケティング手法をLINE・出澤氏が説明



放送と通信を結ぶTVメタデータについてエム・データ薄井氏に学ぶ



JoinTVから得た手ごたえとソーシャル連携サービスの今後について、日本テレビの安藤氏に聞いた（2回開催）



4K/8Kテレビ時代のメディア・産業・文化の波についてNexTV-Fの元橋氏に聞く（3回開催）



新映像符号化技術「HEVC」についてNECの篠野氏から学ぶ（2回開催）



次世代ゲーム機からゲームビジネスの変化をジャーナリストの西田氏に聞く



メディア界隈でも活用されるアマゾンクラウドについてアマゾン・タサビスジャパンの北迫氏から学ぶ

本誌企画による海外ツアー

主な海外メディアビジネスツアー

1月：CES 全米放送業大会（アメリカ／ラスベガス）

2月：MWC（スペイン／バルセロナ、マドリード）

3月：SXSW（アメリカ／テキサス）予定

4月：NAB 全米放送業大会（アメリカ／ラスベガス）

6月：ブロードキャスト・アジア（シンガポール）

9月：IFA 国際コンシューマ・エレクトロニクス展（ドイツ／ベルリン）

IBC 国際放送機器展（オランダ／アムステルダム）

不定期：韓国4K地上波・ケーブルテレビ・IPTVツアー（韓国）



Dolby Laboratories本社で研究開発用のドルビーシアターを見学（2018年1月）



CES2018で有機ELディスプレイ256枚による巨大ビジュアルモール（2018年1月）

NEW MEDIA

■ 広告料金

* 広告会社様へ 掲載金額はネット料金です。

掲載面	色	スペース	広告料* (税別)	寸法 (天地×左右)
表4	4C	1P	¥700,000	252×196mm (塗足5mm)
表2	4C	1P	¥600,000	275×210mm
表3	4C	1P	¥500,000	275×210mm
記事中	4C	1P	¥500,000	275×210mm
記事中	1C	1P	¥300,000	275×210mm
記事中	1C	横 1/2P	¥160,000	120×180mm
記事中	1C	縦 1/3P	¥120,000	250× 55mm

* 年12回出稿の場合：約70%、年6回出稿の場合：約80%

* 編集タイアップの場合：純広告料金+制作実費30万円／1頁

■ 広告入稿のご案内

- 広告原稿は完全データで入稿してください。
- データの媒体（ファイル転送サービス、CD、DVDなど）および形態は何でも可能です。
- データ入稿時には、以下の3点が揃っているか、ご確認ください。

異なる広告を複数入稿する場合、それぞれに下記 **3点セット** が必要となります。

■ 3点セットに関するご案内

1. データ入稿表 データの内容を以下の項目で表示してください。

- ① 入稿日
- ② 広告名称
- ③ データ制作社名・担当者名・連絡先
- ④ 制作環境（OS・バージョン、制作アプリケーション名・バージョン、使用フォント）
- ⑤ 入稿形態
- ⑥ 色見本の有無

* 注意 ・サイズを確認の上、トンボ付きのデータをご用意ください。
・塗り足しが3～5ミリ必要です。

2. データ(媒体) 広告原稿のみ保存してください。

- ① ファイル転送サービス、CD、DVD、USBなど形態は問いません。
 - ② イラストレーターで入稿の場合
 - ・アウトライン済みデータを入稿した上で、不測の事態に備え、アウトラインを取っていないデータを併せてご入稿ください。
 - ・画像は基本的に「配置」にし、「埋め込み」は避けてください。
- * 注意 ウイルスチェックの上、書き込み・保存をお願いいたします。

3. 出力見本

- ① 印刷仕上りの確認ができるもの、出力カンパ、印刷物、PDF。
- ② 必ずアウトライン済みの状態で、最終データを出力してください。
- ③ カラー原稿の場合はカラーの出力見本を、モノクロ原稿の場合は、モノクロの出力見本をご用意ください。